



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 オーミケンシ株式会社
 コード番号 3111 URL <http://www.omikenshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 石原 美秀
 (氏名) 近藤 武彦
 TEL 06-6205-7300

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,385	△15.1	239	—	100	—	77	—
29年3月期第3四半期	8,698	△12.5	△400	—	△695	—	△1,189	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 84百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △1,264百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	0.93	—
29年3月期第3四半期	△18.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	26,626	5,934	22.3
29年3月期	27,533	5,850	21.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,934百万円 29年3月期 5,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

2. 30年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△28.6	600	△66.3	300	△80.2	200	36.1	2.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	66,024,594 株	29年3月期	66,024,594 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	47,249 株	29年3月期	46,668 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	65,977,797 株	29年3月期3Q	65,978,010 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 30年3月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
29年3月期	—	0.000	—	0.000	0.000
30年3月期	—	0.000	—		
30年3月期(予想)				10.530	10.530

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や地政学的リスクの高まりが懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は繊維各部門において機能レーヨンの国内外への販売強化に取り組むとともに、繊維事業以外の事業についても強化を図ってまいりました。繊維部門は諸施策が功を奏したこともあり、利益面での改善が見られましたが、不動産部門は売上高、利益面とも減少しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は売上高7,385百万円(前年同四半期比15.1%減)となり、営業利益239百万円(前年同四半期は営業損失400百万円)、経常利益100百万円(前年同四半期は経常損失695百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,189百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維

繊維部門につきましては、前連結会計年度においてブラジルの連結子会社の事業を停止したため、売上高は前年同四半期に比べて減収となりましたが、スフ綿部門は増収増益となりました。この結果、繊維部門全体では売上高は6,128百万円(前年同四半期比16.5%減)と減収になりましたが、セグメント利益は153百万円(前年同四半期は456百万円のセグメント損失)と改善しました。

②不動産

不動産部門につきましては、売上高860百万円(前年同四半期比7.4%減)、セグメント利益598百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。

③その他

その他部門につきましては、売上高396百万円(前年同四半期比7.1%減)、セグメント損失44百万円(前年同四半期は61百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ907百万円減少し、26,626百万円となりました。負債は前連結会計年度末に比べ991百万円減少し、20,691百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、5,934百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。また、平成30年3月期の期末配当につきましては引き続き未定と致します。配当金額が決定しだい速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903	1,150
受取手形及び売掛金	1,240	1,124
製品	1,485	1,551
仕掛品	92	95
原材料及び貯蔵品	477	414
その他	257	262
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	5,455	4,598
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,463	19,568
その他(純額)	2,085	1,974
有形固定資産合計	21,548	21,543
無形固定資産	185	163
投資その他の資産		
その他	504	480
貸倒引当金	△182	△177
投資その他の資産合計	322	302
固定資産合計	22,055	22,010
繰延資産		
社債発行費	22	18
繰延資産合計	22	18
資産合計	27,533	26,626

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,557	1,702
短期借入金	1,818	1,456
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	199	6
引当金	117	82
その他	880	666
流動負債合計	4,783	4,123
固定負債		
社債	695	590
長期借入金	8,258	8,112
繰延税金負債	5,431	5,432
役員退職慰労引当金	108	119
環境対策引当金	77	77
退職給付に係る負債	780	828
その他	1,547	1,407
固定負債合計	16,899	16,567
負債合計	21,683	20,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,205	3,205
資本剰余金	2,724	2,724
利益剰余金	1,797	1,874
自己株式	△3	△4
株主資本合計	7,722	7,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	10
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,879	△1,876
その他の包括利益累計額合計	△1,871	△1,865
純資産合計	5,850	5,934
負債純資産合計	27,533	26,626

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	8,698	7,385
売上原価	7,388	5,759
売上総利益	1,309	1,626
販売費及び一般管理費	1,710	1,387
営業利益又は営業損失（△）	△400	239
営業外収益		
受取利息	33	10
受取配当金	1	1
その他	84	91
営業外収益合計	119	102
営業外費用		
支払利息	243	162
その他	171	78
営業外費用合計	414	241
経常利益又は経常損失（△）	△695	100
特別利益		
固定資産売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産廃棄損	3	2
事業撤退損	279	—
特別退職金	239	—
特別損失合計	522	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,218	98
法人税、住民税及び事業税	12	22
法人税等調整額	4	0
法人税等合計	17	22
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,236	76
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△46	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,189	77

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,236	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	2
繰延ヘッジ損益	6	0
為替換算調整勘定	△39	4
その他の包括利益合計	△28	8
四半期包括利益	△1,264	84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,217	84
非支配株主に係る四半期包括利益	△47	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,341	929	8,271	426	8,698	—	8,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2	2	—	2	△2	—
計	7,341	932	8,273	426	8,700	△2	8,698
セグメント利益又は損失(△)	△456	649	192	△61	130	△531	△400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△531百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△546百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,128	860	6,989	396	7,385	—	7,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,128	860	6,989	396	7,385	—	7,385
セグメント利益又は損失(△)	153	598	751	△44	707	△467	239

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△467百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。